

比べてみると分かる水道水の味

本郷中学校 二年六組

遠藤 寛也 (えんどうひろや)

水道水は、僕にとってとても身近なものです。僕は毎朝、水筒に麦茶を入れて、学校へ行きますが、放課後の部活動の頃にはなくなるので、水道水を水筒に入れていきます。冷たくておいしい水が、熱くなったり体にしみ込んでいく感じがたまらないなと思います。います。

そんな僕がこの夏、水道水に関して面白い体験をしました。それは夏休みにキャンプへ行ったら時のことです。母がいつも使っているだしとみそをもってきていたので、味噌汁を作ってくれました。僕は味噌汁が好きなので、すぐに飲みました。その味噌汁の味は、いつもの味とは違うのです。まずはありませんが、いつもの味ではないのです。母はいつもと同じように水道水を使って、味噌汁を作ったと言っていました。いつもと違

っていたのは水くらいだった。なので僕は「もし
 かしたら水道水の成分が東京の水道水とは違
 うのかも」と思いました。そこで家
 から持ってきていた緑茶や麦茶の茶葉を、水
 道水を使っていつものように煮出し、飲んで
 みました。思った通り、「いつもの味」とは
 違っていました。

キャンプから帰ってきて調べみると、水
 道水には主に川の水を浄水場に集めて各戸に
 配るものと地下水をくみ上げて使うものとが

あることがわかりました。東京に住む僕は浄
 水場から配られる水を飲んでいました。しかし
 今回キャンプで使った水は地下水を扱いますが
 たものでした。一言で水道水といっても、蛇
 口から出てくる水には土地によって水の硬さ
 や水温など、ちよっとした違いもあるようで
 す。有名な話では、関東と関西では水の硬さ
 が違うそうです。関西では硬度が低い軟水な
 ので、昆布のだしが発達し、関東では、硬度
 が高めな軟水なので、鰯節などのだしが使われ

るようになってたそうです。水道水をそのまま飲んだ時には味の違いに気づかなかった僕ですが、いつもの材料で調理をすると微妙に味が変わったことは、気が付きました。

一方で調べていくと東京でもキャソープ場でも水道水に関して変わらないことがありました。それは安心して使えるという事です。

例えば、東京ではホームページで毎日、水質のデータが公表されています。また自分の家の水道水はどこの浄水場から来た水なのかを

知ることもできます。データを見てみると、たくさんの方が水の安全を真剣に考えて守ってくれていることが伝わり、今日からも、これまです以上に水道水を信頼して使っているのと思いました。

僕は今までいろいろなところへ旅行に行きました。僕が水道水について深く考えることはありませんでした。全国どこでも同じなのだろうと思っていました。しかし今回の経験で、その土地に住む人たちにとって、おいしい水

の味の基準が水道水にあるのかもしれないと
思うと、いろいろな場所で水道水を飲んで比
べてみたいなと思いました。そして、そのよ
うに比べると、飲みなれた東京の水道水の
味が僕の「おいしい水」の基準になる大切な
味であることも、僕はこの夏知るこゝろができ
ました。